

巻頭言

北海道算数数学教育会
高等学校部会長 上野秀俊
(北海道札幌あすかぜ高等学校長)

第42回北海道高等学校数学コンテストが、道内19校、167名の参加により、令和6年(2024年)1月6日(土)を「標準実施日」として全道各地の高校を会場にして実施されました。協力いただきました各会場の先生方に感謝申し上げます。

また、当日に参加した生徒の皆さん、大変ご苦労様でした。

さて、数学コンテストは、数学に対する興味・関心を高め、数学的資質の向上を目指すとともに学力の向上を図ることを目的としています。また、数学コンテストの問題は、数学に対する興味や関心を喚起し創造力・直感力・思考力を高めることを目的として、高校の先生が作問したオリジナル問題です。実施要項に記載していますが、高校1年終了程度の学力で解答可能な内容としています。

ところで、数学に関する興味や関心というのは何となく分かる気がしますが、数学的資質ってなんだろうと思ったことはありませんか。インターネットで検索してみると、数学的に考える、数学的な活動、知識、思考力など多くの言葉がヒットしますが、数学的資質とはこういうものだという簡潔な答えを見つけることはできません。

数学コンテストに参加した皆さんは、数学が好き、数学が得意という思いを持っているのではないかと思います。中には、あまり好きではないがどのくらいできるのかチャレンジしてみたいという思いで取り組んだ人もいるかもしれません。どのような気持ちであれ、新しい課題に果敢に取り組んでみようとする、これは数学的資質の一つであると思います。これまでに得ている知識を組み合わせ、こうすれば解答への道が開かれるのではないかという直感を働かせ、深い思考とともに課題解決への試行を繰り返し、少しずつ答えに近づいていくというプロセスは、数学を学ぶ者として楽しい作業です。参加した皆さんの数学への興味、関心が高まり、これまで以上に数学を好きになってくれたら幸いです。

結びに、数学コンテストの実施に当たり、ご後援いただきました北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道新聞社、北海道高等学校長協会の皆様、また、協賛いただきました東京書籍株式会社、株式会社新興出版社啓林館、数研出版株式会社、北海道情報大学、現役予備校TANJIの皆様に、ここに改めて感謝申し上げます。